

薬剤部 DI ニュース

禁煙治療における薬物治療

喫煙は、ニコチンによる精神依存性だけでなく、身体依存性を有することわかっている。禁煙治療は、喫煙習慣の身体的依存に対してはニコチン製剤を使用したニコチン置換療法(nicotine replacement therapy ;NRT)が、心理的依存に対しては喫煙者の行動変容を支援する認知行動療法が行われる。

ニコチン置換療法(NRT)とは

ニコチンには依存性があり、タバコをやめるとニコチンが摂取できなくなるため、様々な不快症状が現れる。この症状を離脱症状といい、禁煙後 2 ~ 3 日後に最も強く現れ、5 ~ 7 日後には弱くなる。NRT は、ニコチンのみをパッチ、ガムに含有させて体内に吸収させることにより、禁煙による離脱症状を軽減して禁煙に導く方法である。現在、日本では医療用医薬品としてニコチンパッチ(ニコチネル TTS)が、一般用医薬品としてニコチンガム(ニコレット)が販売されている。それぞれの特徴を Table.1 に示した。

Table.1 ニコチンパッチとニコチンガムの特徴

| | ニコチンパッチ | ニコチンガム |
|----------|--|--|
| 商品名 | ニコチネル TTS | ニコレット, ニコレットミント(コーティングのないタイプ) ニコレットクールミント(コーティングタイプ) |
| ニコチン含有量 | ニコチネル TTS30 (52.5mg/枚) ニコチネル TTS20 (35mg/枚) ニコチネル TTS10 (17.5mg/枚) | 2mg/個 |
| 基本的な使用方法 | 肩, 胸, 腕などに貼り, 1日1回張り替える | タバコを吸いたくなったときに1個をゆっくり噛む 5~15回ゆっくり噛む 歯と歯茎の間に挟む(1分以上) ピリッとした感じがなくなれば再び噛む これを30~60分繰り返す |
| 標準的な用量 | ニコチネル TTS30 を4週 ニコチネル TTS20 を2週 ニコチネル TTS10 を2週 | 1日4~12個を4週間使用 4週後から1週ごとに1日当たり1~2個ずつ減量 原則3ヵ月で終了 |
| ニコチン吸収部位 | 皮膚 | 口腔粘膜 |
| ニコチン摂取 | 貼ると確実に摂取される | 摂取は噛み方と個数に依存する |
| 副作用 | かぶれ, 不眠など | 嘔気, 咽頭刺激など |
| 利点 | ・他人にわからない ・仕事中使用可能 | ・口寂しさがまぎれる ・急な喫煙欲求に対応できる ・薬局, 薬店で入手できる |
| 注意点 | ・皮膚が濡れていると剥がれることがある ・医師の診察が必要 ・保険適用の条件あり | ・仕事中使用しにくい ・義歯がある場合は使用しにくい ・口腔内が酸性のときは効果が落ちる (炭酸飲料, コーヒーなどと併用しない) |

ガムとパッチの使い分けは、各製剤の特性、使用する人のニコチン依存度や生活スタイルなどを考慮する。また、NRT においては、ニコチン製剤の使用方法を説明するだけでは不十分であり、カウンセリングなどによる認知行動療法を行うことが NRT の開始時から終了以降も重要である。